

I. 日時：平成 28 年 11 月 10 日（火） 18：07～20:57

II. 場所：神奈川県作業療法士会事務所

III. 理事会定数

出席理事：錠内、澤口、佐藤、神保、吉本、遠藤、野々垣、内山、木村、村越、野本
計 11 名

欠席理事：福留、名古屋、奥原

出席監事：清宮、田中

その他：甲本（ウェブサイト管理委員会）
金山、白鳥、横山（事務局：書記）

IV. 議長団選任

議長：錠内会長

副議長：澤口副会長

議事録署名人：神保理事、清宮監事

V. 配布資料

事務局／一般社団法人日本作業療法士協会設立 50 周年記念事業及び一般社団法人神奈川県作業療法士会 50 周年記念事業について／財務部／学術部／教育部／広報部／福利部／地域リハ部／制度対策部／ウェブサイト管理委員会／学会評議員会／MTDLP 推進委員会／認知症事業対策委員会

VI. 回覧資料

1. PT 士会より第 35 回関東甲信越ブロック理学療法士学会のプログラム集
2. 県看護協会より法人設立 30 周年記念誌「あゆみ」
3. 横浜市リハビリテーション事業団よりヨコハマヒューマン&テクノランド 2016 の行事終了届

VII. 報告・検討事項

1. 事務局(錠内会長)

(1) 報告事項

1) 渉外

①神奈川県介護福祉士会より「第 23 回日本介護福祉士会関東甲信越ブロック研修会」開会式典への臨席依頼

日時：平成 28 年 11 月 12 日（土） 場所：ホテルメルパルク

→錠内会長が出席予定。

②第 2 回介護人材確保対策推進会議

日時：平成 28 年 10 月 13 日（木） 場所：ロイヤルホールヨコハマ 5 階

→錠内会長が出席。

2) 行政および職能団体関連

①PT 士会より第 35 回関東甲信越ブロック理学療法士学会のプログラム集が届いている。（回覧資料）

②看護協会より法人設立 30 周年記念誌「あゆみ」が届いている。（回覧資料）

③横浜市リハビリテーション事業団より県士会が後援しましたヨコハマヒューマン&テクノランド 2016 の行

事終了届が届いている。(回覧資料)

3) 後援名義使用依頼 承認済み

①神奈川県建築士会より

「技術支援委員会福祉部会 平成28年度第2回研修会」後援名義使用依頼

日時：平成29年2月18日(土) 場所：地球市民かながわプラザ

→[KAOT-ML:04254]にて承認

②県西地区リハビリテーション連絡協議会よりリハビリフェスタ2017への後援依頼

開催日：平成29年3月5日(日) 開催場所：小田原アリーナ サブアリーナ

→[KAOT-ML:04290]にて承認

③日本リハビリテーション工学協会車椅子 SIG より後援依頼

開催日：平成29年1月28日(土) 29日(日) 場所：プロミティあつぎ

→[KAOT-ML:04307]にて承認

④神奈川県介護支援専門員協会より第15回神奈川県介護支援専門員研究大会への後援依頼

開催日：平成29年1月21日(土) 会場：横浜市社会福祉センター

→[KAOT-ML:04308]にて承認

4) 他団体より研修会等周知依頼

①かなりはリハ工学福祉機器フェスティバル2016

②日本ハンドセラピィ学会 認定ハンドセラピスト養成カリキュラム in 宮城

③広島県作業療法士会より

「H28年度作業療法推進活動パイロット事業講演会

『刑務所における高齢受刑者の就労支援に向けたプログラムの施策と作業療法の養成』に係る情報交換会のお知らせ 日時：平成28年10月15日 場所：平尾島大学医学部 第5講義室

④県保健福祉局より「介護フェア in かながわ」

日時：平成28年11月23日(水) 場所：新都市ホール

⑤神奈川県建築士会より「技術支援委員会福祉部会 平成28年度第2回研修会」

研修会名 専門職連携～空き家再生ワークショップ

日時：平成29年2月18日 場所：地球市民かながわプラザ

⑥かながわパラスポーツフェスタ2016 神奈川県障害者スポーツサポーター養成講習会

日時：第1回：平成28年10月2日(日) 場所：大和スポーツセンター

日時：第2回：平成28年10月22日(土) 場所：藤沢市秩父宮記念体育館

⑦病院協会より「健康長寿のための医療講演会」

日時：平成28年11月17日(木) 場所：神奈川県総合医療会館7階

⑧南区医師会 南区在宅医療相談室 事例検討会

日時：平成28年11月4日(金) 会場 南区医師会館

⑨神奈川県エイズ対策推進協議会よりレッドリボン月間

平成28年11月16日～12月15日を「2016秋のかながわレッドリボン月間」

5) 庶務関連

①士会員数について

会員数 1957名 平成28年度納入者 1898名 納入率 97パーセント

未納者 59名

仮入会者 32名(申し込みして口座番号待ち)

6) 協会関連

- ①一般財団法人 訪問リハビリテーション振興財団より広報誌「絆」第 32 号の配信
→[KAOT-ML:04280]にて配信。
- ②MTDLP ニュース 8-9 月号を配信
→[KAOT-ML:04279]にて配信。
- ③中村会長より「第 65 回社会保障審議会介護保険部会の資料が掲載されました」
→[KAOT-ML:04284]にて配信。
- ④大分県作業療法士連盟より連盟ニュースが届いている
→[KAOT-ML:04313]にて配信。
- ⑤協会より「都道府県作業療法士会における託児所設置に関する実態調査」のアンケート
→内山理事・遠藤理事・福留で回答予定。
- ⑥熊本県作業療法士会より「震災に際してのご支援等の御礼」
→[KAOT-ML:04337]にて配信。

(2) 審議事項

1) 再入会の件

44900 福重 愛美 横須賀共済病院

⇒理事賛成多数で承認

2) 部員の承認

椎野早香(しいのはやか) 新戸塚病院

⇒理事賛成多数で承認

2. 財務部 (佐藤理事)

(1) 報告事項

1) 平成 28 年度中間監査終了

①監査報告 (別紙)

②修正なし

財務・学術・教育・ウェブ管・学会評議・公益法人・認知症・第 16 回県学会

③修正あり

後日事務局より修正箇所まとめて連絡予定

2) 会計ファイル修正後、全部門に事務局より送信 (11 月 14 日の週をメド)

10 月分より修正後ファイルに記入後提出 (11 月 21 日の週をメド)

3) 財務部のブログ更新状況

3 月 3 件・4 月 2 件・5 月 4 件・6 月 3 件・7 月 2 件・8 月 0 件・9 月 1 件・10 月 1 件

(2) 審議・検討事項

1) 県学会・臨床大会助成金額削減について (学会評議委員会との共同提案)

①財務としてはやはり来年度 (第 17 回県学会・第 3 回臨床大会) から実施したい

②理由：県士会本体の収入に比し支出が増大

新設部門の増加

全部門の事業継続、発展、多職種連携の信用>イベント的事業

助成金額の根拠が曖昧で会員に説明困難

事業計画と予算をもとに**助成金額→貸付金額に変更?**決定というシステム設定

③臨床大会は位置づけの明確化と学生に依存しない運営を学会評議委員会で検討中

④県学会：当初 100 万円+最大 120 万円=最大 **220 万円**

臨床大会：当初 50 万円＋最大 30 万円＝最大 80 万円

現行の 2 年間で 300 万円＋120 万円＝420 万円 → 最大 310 万円に削減

2) 事務局専任の労働環境の整備（事務局との共同提案）

① 雇用保険に加入しなくてはならない労働状況

i 雇用保険について

条件：週に 20 時間以上労働、31 日以上継続雇用

保険料率：労働者負担 4/1000 + 事業主負担 7/1000＝11/1000

ii 個人情報扱う責任のある仕事を担当→最低限の労働環境の整備

iii 現状：契約では 18 時間/週も実態は 20 時間/週

H27 年度人件費：約 345 万円→雇用保険金額：24,150 円/年（2,012 円/月）

②健康診断・ストレスチェックについて

i 健康診断：

正職員は週に 40 時間の 1/2 以上の実働実態がある場合、健康診断を受診させた方が望ましいという努力義務がある。そのため、今後健康診断の整備も進める必要がある。

ii ストレスチェック：

正職員が 50 人未満の職場は、努力義務となっている。そのため、将来的な課題として検討していく。

3. 学術部（錠内会長代読）

（1）報告事項

1) 研修会事業（スキルアップ研修事業）

①身体障害系報告

i 『CI セラピーボトムアップ（徒手的）アプローチ講習会』

講師：田邊 浩文 先生 作業療法士（湘南医療大学）

開催日：平成 28 年 10 月 30 日（日）

会場：湘南医療大学

参加数：84 名

部員：7 名

②精神障害系企画

i 『今後の精神科作業療法の展開について』

講師：香山 明美 先生 作業療法士（みやぎ心ケアセンター）

開催日：平成 28 年 12 月 18 日（日）

会場：ハーモニーとよおか 3 階会議室（仮）

定員：60 名

③老年期障害系 1 回

i 『認知症に対する作業療法（仮）』

講師：佐藤 良枝 先生 作業療法士（曾我病院）

開催日：平成 29 年 2 月 11 日（土）

会場：ウィリング横浜

定員：50 名

2) 研究助成事業の件

研究代表者 佐々木秀一 北里大学東病院 他 7 名

「急性期及び回復期の脳卒中患者の麻痺側上肢機能と日常生活上の上肢使用量の関連性

ウェアブルウォッチ型に加速度計による定量的上肢活動量分析」

研究予算：¥199,908

→1 課題を承認済み

3) 学術誌残部の活用方法

①今回の定款変更に伴い以下の2点を行なっています。

i 県士会主催の研修会、臨床大会、新人歓迎会などで配布または販売に関して

ii データーベースへの登録

メディカルオンライン、医学中央雑誌への公開について、経費はかからない

メディカルオンラインの場合は7000円+ (1論文54円×ダウンロード数) の収入

メディカルオンラインに登録している県士会は8件

(愛知県、石川県、大阪府、千葉県、東京都、長野県、北海道、宮城県) 理学療法士県士会は、より多数登録されている。

(2) 審議事項

査読委員の承認

高橋 博美

横浜 YMCA 学院専門学校 作業療法科

机里恵

横浜リハビリテーション専門学校

秋本浩

横浜リハビリテーション専門学校

内山博之

横浜リハビリテーション専門学校

須鎌 康介

湘南医療大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻

藤本 幹

国際医療福祉大学小田原保健医療学部作業療法学科

篠崎 雅江

国際医療福祉大学小田原保健医療学部作業療法学科

窪田 聡

国際医療福祉大学小田原保健医療学部作業療法学科

⇒理事賛成多数で承認

4. 教育部(錠内会長代読)

(1) 報告事項

1) 研修会報告

①現職者共通研修

第1回 9月19日(月・祝) 場所:ウイリング横浜

10:30~12:00 奥原:生涯教育概論 57名

13:00~14:30 福留大輔先生:職業倫理 61名

14:45~16:15 作田浩行先生:実践のための作業療法研究 57名

②現職者選択研修

MTDLP 基礎研修(必須) 11月3日(木・祝) 場所:ウイリング横浜 61名 *都士会と共催

講師 木村修介先生、都士会 猪股英輔先生

2) 今後の予定

①現職者共通研修

第2回 11月20日(日) 場所:ウイリング横浜

10:30~12:00 岩上さやか先生:作業療法における協業・後輩育成

13:00~14:30 神保武則先生:日本と世界の作業療法の動向

14:45~16:15 錠内広之先生:作業療法の可能性

第3回 12月11日(日) 場所:ウイリング横浜

*10:30~12:00 「OT協会事例報告制度に関する研修会」

13:00~14:30 水野健先生：事例報告と事例研究

14:45~16:15 木下剛先生：保健・医療・福祉と地域支援

第4回 3月5日(日) 場所：ウイリング横浜

10:30~12:00 事例検討・事例報告(事例報告会)

13:00~14:30 事例検討・事例報告(事例報告会)

14:45~16:15 事例検討・事例報告(事例報告会)

②現職者選択研修

老年期障害 1月29日(日) 場所：ウイリング横浜

③事例報告登録制度に関する研修会>

*同日午後の現職者共通研修「事例報告と事例研究」と組み合わせて、神奈川県士会独自開催

12月11日(日) 9:30~12:00 場所：ウイリング横浜

(2) 審議事項

1) SIG団体認可申請

名称：臨床実践に役立つ理論研究会

申請資料回覧(申請資料には問題ありません)

⇒理事賛成多数で承認

5. 広報部(神保理事)

(1) 報告事項

1) 今後のニュース発行予定

182号(11月発行)スケジュールについて、現在第1校 執筆者による校正確認中。

11/1(金)高陽印刷所にて打ち合わせ。第2校確認後11/11(金)校了予定。11/24(木)発送予定。

2) ニュース班 部員による業務について

部員増員により来年度からニュースの責任編集を3チーム体制で準備中。新部員の作業工程を指導中。

3) チラシの値段の件

11/1(火)の印刷所打合せでチラシの低価格化(白ベース2色刷)について再度相談中。1月号のチラシより試験的に実施頂けるよう準備していく。11月号はこれまでの価格となる。

4) 対外広報班の活動

①一般向けの広報活動報告

日時：10月9日

於：中区区民祭「ハローよこはま」ブース出展

部員：2名(平田・酒井)

内容：医療専門職団体で参加。OTからは認知機能検査体験を実施(パンフレット配布・介護相談等)

参加者：体験者40名 ・ 資料配布は約80部

②準備中

介護フェア(11月23日)ブース出展

介護支援専門員研究大会(2月予定)へのブース出展

③その他

横浜市泉区リハ連絡会より

泉区政30周年記念イベントでのブース出展時に県士会パンフレット(パンフ)配布目的の送付依頼をいただいた。本連絡会代表はPTで、運営委員のOT主メンバーは県士会に入会していない非会員からの依頼。他の運営委員に県士会員がいるという情報を鑑み、本件の検討に至り、パンフを送付した(パンフ部数に関

してはPTST士会のパンフ部数と同様数)。

(2)提案事項

3年間で約3000部のパンフレットが出ているが、パンフレットをどのような用途で使用したかが不明。そのため、今後詳細を調査していきたい(県士会メーリングリストにて)。最終的にはパンフレットの使用用途を透明化できるように進めていく。

6. 福利部 (吉本理事)

(1) 報告事項

1) 求人・求職の登録および情報提供 (2016年9月4日～10月30日)

新規掲載依頼：のべ33件(うち有料1件) 変更依頼：のべ4件

削除依頼：のべ2件 問い合わせ対応：のべ1件

2) 職場見学・体験班

職場見学・体験会 企業編 小児デイケア

日時：2016年9月22日(木) 13:00～15:00

場所：『NPO法人 laule' a (遊びりパーク リノア)』藤沢市辻堂西海岸2-10-3-1

講師：大郷和成氏

テーマ：障害を持つ子どもたちのための放課後等デイサービスの起業と作業療法の可能性

参加者：11名

参加費：1000円

※県士会ニュース11月号、WEBサイト『あらかると』に報告掲載

3) 表彰班

①表彰事業

i 日本作業療法士会 特別表彰

湘南医療大学 鶴見隆彦先生を推薦 10/28に書類提出を事務局に依頼済み

ii 神奈川県作業療法士会 表彰制度(功労表彰)についての検討

(2) 審議事項

1) 一般社団法人 神奈川県作業療法士会 表彰制度(功労表彰)について

①功労表彰規程

i 表彰の目的

第1条

一般社団法人神奈川県作業療法士会に、長期に渡り所属・貢献された正会員に、当会より感謝の意を表し称えること。また引き続き、当会の活動にご尽力いただくことを依頼する。⇒表記の仕方を変更する？

ii 表彰の内容

第2条

功績を称え感謝状と記念品を授与する。

iii 表彰の推薦基準と方法

第3条

正会員期間が通算25年以上

当会役員や部員の通算期間が4年以上(2期以上)

上記基準該当者のうち上限10名を福利部が選出し、理事会で審議承認された会員とする。

iv 表彰の方法

第4条

社員総会(例年5月開催)にて表彰式を執り行い、受賞者に感謝状と記念品を授与して行う。

社員総会に出席できない受賞者に関しては、会員名簿の住所に郵送する。

v 規程の開始と変更

第5条

この制度は三役会に諮問し、理事会の承認によって変更できる。

附則

この制度は平成29年4月1日より施行する。

※上記Iの表彰規定は、今年度は内規として運用し、来年の社員総会で規約として設ける。

追加事項→表彰される人の資格

表彰を受ける時点で県士会員であるということ。

2) 予算の概算

予算項目

①表彰状と記念品(感謝状、記念品)	¥70,000
②賞状ホルダー(筒)と持ち帰り用紙袋	¥7,500
③表彰のご案内などの郵送費	¥2,500
④社員総会出席の交通費もしくは欠席時の配送費	¥20,000

概算合計：¥100,000 補正予算が必要

⇒理事賛成多数で承認

7. 地域リハ部 (遠藤理事)

(1) 報告事項

1) 研修会について

①研修会報告

i 第6回多職種精神保健福祉セミナー

開催日：10月1日土曜日 会場：ウィリング横浜

参加者：39名 うちOT17名

ii 第2回地域リハビリテーション人材育成研修会

開催日：10月30日日曜日 会場：横浜リハビリテーション専門学校

参加者：33名

iii 認知症対策委員会の主催勉強会

11月5日の研修会に地域リハ部3名研修会運営についてフォローに入る予定。

②研修会企画

i 難病リハビリテーション研修会(仮)

平成29年3月12日日曜日予定

2) 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の報告

①相談役会

錠内会長、PT、STの会長を交えて相談役会開催済み。

次年度の予算案と今後の三士会状況確認

②研修会企画

i 地域ネットワーク MT

開催日：11月20日日曜日 13:30~16:30

会場：ミューザ川崎 シンフォニーホール研修室

テーマ：「いざ出陣!! 地域ケア会議」

ii シンポジウム

開催日：平成 28 年 2 月頃開催予定

内容は、医師会・地域リハ関連団体を交えて地域包括システムの話

①の相談役会でも開催内容について意見交換

3) その他

①平成 28 年度 神奈川県介護予防従事者研修会

湘南会場：平成 28 年 11 月 3 日、6 日 会場：平塚プレジール

横浜会場：平成 29 年 1 月 28 日、29 日 会場：横浜新都市ホール

※9 月号の広報誌と一緒に研修会案内配布済み。

講師依頼：金山桂 OT

作業療法士会運営スタッフ派遣：遠藤

各会場共に当日スタッフを 4 名 OT 士会から派遣

8. 制度対策部（野本理事）

(1) 報告事項

1) 福祉用具対策班開催研修

9/4 (日) 第 3 回 明日から使える環境スキル (移動・玄関アプローチ)

参加 5 名 (6 名応募 1 名欠席)

11/27(日) 第 4 回 明日から使える環境スキル (ポジショニング・移乗) 応募 8 名

12/3(土) 第 5 回 明日から使える環境スキル (重度障害者の環境調整) 応募 3 名

2) 福祉用具相談支援システム

9 月 登録 36 件 相談 1 件 (対応終了済み)

10 月 登録 13 件

3) HCR 相談員派遣

10/12~14 国際福祉機器展 ふくしの相談コーナーへ計 6 名派遣済み

4) OT 協会制度対策部モデル事業 (福祉用具班が対応)

10/23 OT 協会担当者と班員で会議実施。

登録事例の整理作業中、11 月末までにまとめる。

5) ウェブコンテンツ「これでエイド！」 ブログアップ 9 月 1 件 10 月 4 件

6) 「特別支援教育実践に関する情報交換会」などへの対応に関して

現状部内には本件に精通または実務でかかわっている者がいない。

今年度、本事業に関わる人員を発掘し、次年度、部内の社会制度対策班のメンバーに加え対応を依頼したいと考えている。

意見→今後の展望について精査が必要。

野本理事→県内の特別支援教育に携わる OT からコネクションを作っていきたい。

9. ウェブサイト管理委員会作田（甲本 OT 代読）

(1) 報告事項

1) 県士会サイトの管理とアクセス件数 提出資料参照。

2) 新コンテンツ「県士会活動☆あらかると」について

目的：イベント活動（研修会・対外広報・その他）の開催予告 PR と活動報告の場とする

2016. 6. 13 頃 コンテンツの設置・投稿マニュアルの作成が終了

2016. 6. 26 1 本目の投稿（福利部）

2016. 10. 19 時点 計 8 本の記事が投稿された

①運用のコツ

i 他の記事にコンテンツ中の記事のリンクを貼る

記事単独では、アクセスは伸びず、記事作成による効果の促進はあまり期待できない

研修会開催の PR であれば、先にコンテンツ記事を投稿しておき、その後に「講習会・研修会コンテンツ」へ開催情報の掲載を依頼する ⇒ 依頼する記事中にはコンテンツ記事への URL を「内容」や「備考」に入れておく

ii 記事中に他の関連する記事へのリンクを入れておく

過去の開催報告など、他の関連する記事へのリンクを記事中に入れておくことで、さらなる情報の発信につながる

②適切な例：過去の開催報告へのリンクを活用

明日から使える環境調整スキル第 5 回～重度障害者の環境調整編～

<http://kana-ot.jp/wpm/lecture/post/4667>

→「講習会・研修会」ページへの掲載依頼原稿中に「県士会活動☆あらかると」の関連する記事へのリンク (URL) を記述している

③不適切な例：前回の理事会以降の投稿より

どうなる？これからの精神科作業療法～急性期から地域生活支援まで OT の役割について～

<http://kana-ot.jp/wpm/lecture/post/4660>

第 2 回地域リハビリテーション人材育成研修会

<http://kana-ot.jp/wpm/lecture/post/4613>

→「県士会活動☆あらかると」へ PR 記事が未投稿

→推奨：「講習会・研修会」ページへ依頼をかける前に、「県士会活動☆あらかると」へ PR 記事をアップし、その後その維持の URL を記述した依頼原稿を「講習会・研修会」へ投稿する

3) 各部・各委員会ページの更新状況

①項目の統一

「活動内容」・・・部署の目的・役割・業務内容など・・・必要に応じて書き換える

「活動計画（平成 28 年度）」・・・今年度の内容へ書き換える

「構成部員・委員」・・・必要に応じて書き換える

記入ひな型：氏名（所属） 例：作田浩行（昭和大学保健医療学部）

表にしなくてかまわない

「担当理事からのひと言」・・・必要に応じて書き換えてください

掲載済み：財務部、福利部、ウェブサイト管理委員会、事務局、制度対策部、学術部、認知症対策委員会

⇒記載していない部は 11 月中に記載するよう依頼済

②部員・委員に変動があった場合

構成員に変動（新規承認・退任）がある場合は、その都度ウェブ管 <kaot@kana-ot.jp> へ連絡する。

10. 学会評議委員会(内山理事)

(1) 報告事項

1) 第 16 回神奈川県作業療法学会 実行委員会 (2016. 10. 12)

参加者：内山、荻野

内容：演題採択委員会－演題応募期間(2016. 10. 3. ～2017. 1. 31.)、目標：100 演題（ポスター発表）
査読者 12 名確約済み(10 月中に決定し、2017. 2. より査読開始)
機器展示委員会－出展料を無料ではなく、1 区画 1 万円に変更
学会誌編集委員会－学会誌については県士会員全員に配布
会場－県立大学 3 階と 4 階を使用する
事務局－中間監査についての連絡

2) 県学会・大会の会場探し（中間報告：別紙資料参照）

県学会の学会長と学会会場を県内養成校持ち回り式はいずれ限界が予測される
(過去例から会員数の 3 割程度が参加→今年度会員数約 2 0 0 0 名、3 割換算で 6 0 0 名)

3) 臨床大会の位置づけ検討中

次回、理事会で報告。

(2) 審議事項

①学会、大会での学生対応について

→第 15 回学会は、お弁当と冊子。第 2 回大会もお弁当、冊子。

今後について

※ 交通費、お弁当、学会誌(事前に準備しておく)

(学生分は、別会計とする。上限 10 万円目安)

監事⇒10 万円という限度を設けた理由は何か。

財務部⇒学会の会場準備・片付けの関係で学生の動員数が多い。会場が養成校でなくなる場合、会場準備・片付けに必要なスタッフの数も変わるため、目安を設けたい。

監事⇒学生を動員する目的は何か。

内山理事⇒未来の県士会員・協会員獲得に向けて。

監事⇒そうであれば限度を設けるべきでないのではないか。学会運営の計画性の中で使える金額を決めれば良いのではないか。学会評議員会で決めるべきではないのではないか。

監事⇒学校教員へ質問：学校側が無理やり学生を手伝いに参加させていないか。県士会としては、未来の会員獲得に向けて意思疎通ができていけばよいが。

意見 1 ⇒学生スタッフは希望性にするべきである。強制は良くない。

意見 2 ⇒事前に目的などを十分に説明したうえで参加を促し、結果として学生からも充実したという意見が得られた。なので、事前に説明を重ねた上で今後も積極的に参加を促していきたい。しかし、学生の金銭負担も考え、交通費支給を最低限行った方は良いのではないかと提案した。

意見 3 ⇒以前の実績からも交通費支給がなければ学生の参加率は下がる。

意見 4 ⇒過去の経験からも、交通費、お弁当、学会誌の支給はベースラインとなるのではないか。しかし、会場を養成校ではなく別の場所で行うことになった場合に、学生の人数がそこまで必要となくなる可能性もある。一人当たりの想定金額、何名位必要かなど目安等はあるかもしれない。

財務部⇒学生の交通費等に上限を設けるというよりは、運営側から学生分の交通費等を出してもらえよう提案する方向で、学会評議員会と財務部で再検討していきたい。

②参加費について（別紙参照）

事前参加：3,000～4,000 円

当日参加：4,000～5,000 円

他職種・他県士会：4,000～5,000 円

非会員：6,000 円

監事⇒会員と非会員の参加費にもう少し差をつけるべきではないか(協会員であることのメリットを強調)。

意見1⇒広報部としては非会員にも積極的に参加できる価格設定でもよい。

意見2⇒会員価格で参加できるメリットを強調するために、もう少し差をつけても良いのではないか。

監事⇒会員であるお徳感がないと、入会希望者へのアピールにならない。

意見3⇒当日入会手続きをしてもらう形では、仮入会で止まってしまうケースが多い。

意見4⇒事前に会員になってもらう事を前提に、学会に参加してもらいたい。

11. MTDLP 推進委員会 (木村理事)

(1) 報告事項

1) 研修会開催予定

【MTDLP 研修】	①7月3日	横浜リハビリテーション専門学校
	②10月2日	横浜リハビリテーション専門学校
	③2017年1月15日	横浜リハビリテーション専門学校
【事例作成】	①8月5日	横浜リハビリテーション専門学校
	②10月28日	横浜リハビリテーション専門学校
	③2017年2月17日	横浜リハビリテーション専門学校
【事例発表】	①9月4日	横浜 YMCA 学院専門学校
	②12月4日	横浜 YMCA 学院専門学校
	③2017年3月12日	横浜 YMCA 学院専門学校

2) 研修会報告

【MTDLP 研修】	①7月3日	参加者 51名 × ¥4,500 = ¥229,500
	②10月2日	参加者 63名 × ¥4,500 = ¥283,500
【事例作成】	①8月5日	参加者 30名 × ¥1,000 = ¥30,000
	②10月28日	参加者 19名 × ¥1,000 = ¥19,000
【事例発表】	①9月4日	中止

合計¥562,000

3) OT 協会のグランドデザイン

H28 年終了時までに達成する目標

基礎研修修了者 ⇒ 会員数の 60%

実践者研修修了者 ⇒ 会員数の 30%

指導者 ⇒ 会員数の 5%

現在 (2016 年 10 月時点) の神奈川県士会の基礎研修修了者数 (約) 529 名 31.9% (会員数 1,957 名)

旧実践者研修修了者数 (約) 43 名 2.4%

12. 認知症事業対策委員会 (村越理事)

(1) 報告事項

1) 県内の認知症イベントへの参加

9月25日(日) 認知症をにんちしよう会イベント 10時~16時

小田原市 認知症を認知しよう会イベント実行委員会

①ステージ企画 (15分)

脳トレ (パネルの文字 (色は異なる) を答える、じゃんけん) 体操

②OT ブース企画

i テーブル企画 (常設)

興味関心チェックリストの施行（目的、認知症との関係などを別紙に記載する）、折り紙（組み合わせて三角、四角、球体を作る）

ii パンフレットの展示

OT 協会、作業療法とは、認知症についてのパンフレット

※当日ブース来場者 25 名程度

※11 月 9 日（水）19 時～認知症を認知しよう会実行委員会 部員 3 名参加予定

2) 研修会

11 月 5 日（土）10 時～12 時

「これからの認知症支援について ～地域で作業療法士に求められること～」

講師：宮澤 由美（汐田総合病院 医師）

場所：横浜 YMCA 学院専門学校

定員：40 名（これから認知症を推進していく作業療法士）

会費：会員 1000 円 会員外 1500 円 学生無料

研修会参加者 20 名

要員協力：地域リハ部より 3 名協力

3) OT 協会 認知症対策委員会 平成 28 年度認知症作業療法推進委員会議

日時：2016 年 11 月 19 日（土）13：00～ 11 月 20 日（日）15：00～

会場：TKP 新橋内幸町ビジネスセンター ホール 611

文責：白鳥

次回の理事会開催日時 平成 29 年 2 月 9 日（木）19 時より
開催場所 一般社団法人神奈川県作業療法士会事務所
〒231-0011
神奈川県横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301
TEL/FAX 045-663-5997

議事録署名人	議長	錠内 広之	印
	監事	清宮 良昭	印
	理事	神保 武則	印